

北朝鮮から発射された弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合 における全国瞬時警報システム（Ｊアラート）による情報伝達について

北朝鮮から発射された弾道ミサイルが日本に飛来する場合、弾道ミサイルは極めて短時間で日本に飛来することが予想されます。仮に、北朝鮮から発射された弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合には、日本政府から、24時間いつでも全国瞬時警報システム（Ｊアラート）を使用し、緊急情報が伝達されます。

北朝鮮が予告することなく弾道ミサイルを発射した場合には、日本政府としても、事前にお知らせすることなく、Ｊアラートを使用することとなります。

日本政府がＪアラートを使用すると、市町村の防災行政無線等が自動的に起動し、防災無線屋外スピーカー等から警報が流れるほか、携帯電話にエリアメール・緊急速報メールが配信されます。

なお、Ｊアラートによる情報伝達は、弾道ミサイルに注意が必要な地域の方に、幅広く行われます。

Ｊアラートによる情報伝達では、

- 弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある
と判断した場合に、まず、弾道ミサイルが発射
された旨の情報を伝達します。弾道ミサイルが
どこに落下するか等については、続報で伝達さ
れますので、この時点では落ち着いて続報に備
えて下さい。
- その後、弾道ミサイルが日本の領土・領海に
落下する可能性があると判断した場合に、続報
として屋内避難の呼びかけを行います。屋内避
難の呼びかけを受けた場合には、直ちに近くの
建物等に避難してください。
- このほか、弾道ミサイルが日本の領土・領海
に落下したと推定された場合や、日本の上空を
通過した場合、日本まで飛来せず、領海外の海
域に落下した場合には、その旨を続報としてお
知らせします。

※ 詳しくは

内閣官房 国民保護ポータルサイト

<http://www.kokuminhogo.go.jp/> をご覧下さい。



